

ごあいさつ

秩父市長 久喜 邦康



市民の皆さまには、日ごろから本市の防災行政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、毎年のように自然災害が発生しています。世界的にみても、異常気象の影響と思われる大型台風の発生や干ばつ、日本国内においても台風やゲリラ豪雨などの風水害や土砂災害などが懸念され、阪神・淡路大震災や新潟県中越地震、また平成20年に発生した岩手・宮城内陸地震による被災の状況は、まだまだ人々の記憶に残り、防災に対する意識の向上は、行政はもとより、市民一人ひとりにも求められる現状となっています。

自然災害の発生予想、特に地震の予知は非常に困難であります。今回、平成19年度埼玉県によりに実施された5つの想定地震による最新の地震調査研究に基づき、秩父市に最も影響があると思われる「深谷断層による地震ゆれやすさマップ」を作成し、合わせて防災ハンドブックの内容も新しくいたしました。

自然災害の発生を抑え込むことは不可能ですが、普段からの“心掛け”により「減災」することはできます。

秩父市では、災害による被害を最小限に抑える“減災”が可能になるよう、「自助」「共助」「公助」という基本的な考えに基づいた「自主防災・防犯組織」の活動を推進しておりますが、合わせて、市民の皆さまにも、災害に対する知識や対処法の理解をお願いし、「自分たちのまちは自分たちで守る」といった市と市民一人ひとりの“心掛け”による「安心・安全のまちづくり」の実現にこの冊子をご活用いただければと思います。

平成21年5月



CONTENTS

- 地震ゆれやすさマップ 1
- 埼玉県内“表層地盤”のゆれやすさマップ 2
- 秩父市“深谷断層による地震”ゆれやすさマップ 3
- 指定避難場所マップ 4
 - 秩父地区/吉田地区
 - 大滝地区/荒川地区
- 秩父市の指定避難場所 6
 - 避難するところ/指定避難場所一覧
- 家庭で防災について話し合しましょう 7
 - 家庭で開く防災会議/市民防災と防犯の日
- 地震発生! そのときどうする? 8
 - 地震発生時の行動チャート/地震の揺れと想定される被害
- 地震発生! こんな場所にいたら 10
 - 屋内にいる場合/屋外にいる場合/帰宅困難に備える/避難するときはこんな服装で
- 家の内外の安全対策 12
 - 家の中の安全対策/家の外の安全対策/わが家の耐震診断をしましょう
- わが家の火災予防対策 13
 - 消火器の使い方を覚えておきましょう/初期消火の3原則
 - 出火原因別防火のポイント/住宅用火災警報器を設置しましょう
- 風水害・土砂災害の種類と特徴Ⅰ 14
 - 台風/集中豪雨
- 風水害・土砂災害の種類と特徴Ⅱ 16
 - 土砂災害/土砂災害防止法とは?/土砂災害警戒情報とは?/避難に関する情報
- 地域の防災活動に参加しよう 18
 - 平常時の活動/災害時の活動
- 災害時要援護者を災害から守ろう 19
- 非常持出品・備蓄品を準備しよう 20



地震ゆれやすさマップ

埼玉県は平成19年度に地震動予測調査を実施、県内に影響の大きい5つの地震に関して発生時の揺れの大きさなどを公表しています。

5つの想定地震

想定地震	マグニチュード	地震のタイプ	選定理由
東京湾北部地震	7.3	プレート境界で発生する地震	首都直下地震として起こる地震のなかで切迫性が高いもの
茨城県南部地震	7.3		
立川断層帯による地震	7.4		
深谷断層による地震	7.5	活断層で発生する地震	県内の断層帯で主要なもの
綾瀬川断層による地震	6.9		



ゆれやすさマップの目的

地震による地表での揺れの強さは主に、「地震の規模(マグニチュード)」、「震源からの距離」、「表層地盤」の3つによって決まります。県が調査した想定5地震のうち秩父市に最も影響があるのは「深谷断層による地震」です。

本ハンドブックでは、内閣府が公表している埼玉県内の“表層地盤”のゆれやすさマップとともに、「深谷断層による地震」の想定震度分布を市内のゆれやすさマップとして掲載しています。秩父市の地盤は県内では相対的に揺れにくいことがわかりますが、深谷断層による地震(マグニチュード7.5)により、秩父市内の一部で震度6弱の揺れが予想されています。

これらのゆれやすさマップは、市民の皆さんに防災に対する関心を高めていただき、必要に応じて古い建物の耐震診断や耐震補強、家具の固定などの対策を講じる際の参考にしていただくことを目的としています。各家庭における日ごろの地震への備えの参考としてお役立てください。